

(電子メール施行)

農技第1803号

令和5年10月27日

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察防除情報 第7号を下記のとおり発表します。防除指導等の参考として下さい。

ブロッコリー黒すす病の発生が確認されています。今後、さらに発病の増加が懸念されますので、圃場での発生状況を観察し、防除対策を徹底するようご指導願います。

## 令和5年度 病害虫発生予察防除情報 第7号

### ブロッコリー黒すす病の防除対策について

- |        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 1 対象作物 | ブロッコリー                              |
| 2 病害虫名 | 黒すす病 <i>Alternaria brassicicola</i> |
| 3 発生地域 | 県南部                                 |

#### 4 発生状況と今後の発生

(1)関係機関の調査により10月収穫作型のブロッコリー圃場において、黒すす病の発生が確認されたため、令和5年10月25日に発病状況を調査した。その結果、同病の発病圃場率36.4%、発病株率17.3%（年内穫り、早播き作型で調査）であった。発生部位は葉および花蕾である。

(2)今後の天候は、近畿地方の1カ月予報によると、気温は高く、降水量は少ないまたは平年並とされている。本病の発生に好適な条件となった場合、発生の増加が懸念される。

#### 5 本病の被害と発生生態について

(1)本病の発病適温は20～25℃付近で、降雨と強風により発病が助長される。病原菌は被害植物体上で生存し、孢子（分生子）により空気伝染をする。

(2)葉に形成された病斑上の孢子は花蕾の伝染源となる。

#### 6 防除対策について

(1)アブラナ科作物の連作を避ける。

(2)収穫後残渣は、速やかにすき込むか圃場外に持ち出す。被害残渣は周辺圃場への伝染源となる。

(3)圃場をよく観察し、発生前の予防的な薬剤散布が効果的である。

(4)前作発生圃場およびその周辺圃場、生育中に病斑を確認した圃場は薬剤防除を徹底する。

(5)薬剤散布にあたっては、薬剤が葉裏及び花蕾部分に十分に付着するよう散布する。

- (6)耐性菌の出現を回避するため、同一系統の薬剤を連用しない。
- (7)防除薬剤については、地域の防除暦や兵庫県農薬情報システムを参考に選定し、農薬使用基準を遵守する。

\*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

兵庫農薬情報システムは以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222



葉の症状



花蕾の症状